

支部保険者機能強化予算（案）について

<2021年度佐賀支部予算案>



全国健康保険協会 佐賀支部

協会けんぽ

2021年度 佐賀支部の支部保険者機能強化予算（案）〈支部医療費適正化等予算〉

分野	所属G	取組名	概要	経費(円)
医療費適正化対策	企画	情報提供ツール等を活用したジェネリック医薬品の使用促進	情報提供ツールを活用して、事業所・医療機関等にジェネリック医薬品の使用割合等の情報提供を行い、使用促進を図る	751,300
	業務	健康保険被扶養者状況リストの未提出事業所への電話勧奨業務委託	文書勧奨と併せて電話勧奨業務を外注し、リストの提出率アップを図る 〈高齢者医療制度への納付金削減、医療機関への適正受診〉	528,000
	レセ	第三者行為による傷病届の届出催告業務委託事業	弁護士名を活用した届出催告通知を行い傷病届の提出率アップを図る 〈損害賠償金の保全、債権回収額増による収入増→支部保険料率の減〉	495,000
広報・意見発信	企画	管内全事業所へ配布するチラシ等の作成	納入告知書へ同封するチラシを作成し、事業所等に制度や支部の事業内容等の周知を図る	1,140,480
	企画	子育て世代をターゲットとした適正な医療のかかり方パンフレットの作成	子育て世代に適正な医療のかかり方パンフレットを出産育児一時金の支給に合わせて送付し、医療費の適正化を図る	792,000
	新 企画	出生を契機とした禁煙啓発チラシの作成	禁煙啓発チラシを出産育児一時金の支給に合わせて送付し、喫煙率の減少を図る	105,600
	新 企画	位置情報を利用したジェネリック医薬品使用勧奨	ジェネリック医薬品の使用割合が低い医療機関に一定時間滞在した者に対し、位置情報を利用しスマートフォン等への広告を実施することで、ジェネリック医薬品使用促進を図る。	847,000
	★ 企画	加入者の行動変容のための広報	保険料率及び医療費が全国一高いということを加入者に知ってもらったうえで、動作指示を行い受診行動の変容を図る	5,273,180
企画	心の健康づくりフォーラム	佐賀県等が主催するフォーラムに共催で参画し、加入者の健康増進を図る	55,000	

計：9,990千円（上限：9,990千円）

2021年度 佐賀支部の支部保険者機能強化予算（案）〈支部保健事業予算-①〉

分野	区分	取組名	概要	経費 (円)
健診		事業者健診HbA1c追加検査費	事業者健診データとして取り込むため事業者健診時にHbA1cを実施した場合の費用負担	27,060
	事業者健診の結果データの取得	外部委託による事業者健診データ取得勸奨	①生活習慣病予防健診を受診していない事業所の同意書取得勸奨 ②同意書取得済の事業所の事業者健診結果取得勸奨 ③取得した事業者健診結果のデータ化 ④取得した事業者健診結果データが特定健診結果として有効かチェック	3,159,900
	集団健診	支部主催の集団健診の実施	①条件（集客が見込める商業施設、無料・有料オプション、当日特定保健指導が可能）を満たし実施が可能な実施機関を優先して選定した集団健診の実施 ②コンビニエンス等を活用した集団健診の実施（県、市、コンビニエンスストア等との共催）	2,952,500
	健診推進経費	生活習慣病予防健診、事業者健診（結果データ取得）、特定健診	健診実施機関等の過去の実績等を踏まえ、実施機関等ごとに目標値を設定し、その目標値を超えた場合にインセンティブを支払う	9,588,755
	健診受診勸奨等経費	新規加入者への健診案内の送付	任意継続者、新規認定被扶養者へ対して健診案内を送付	500,500
生活習慣病予防健診、特定健診案内チラシの作成		受診案内、実施機関一覧、日程一覧、記入例等の作成	3,173,500	

2021年度 佐賀支部の支部保険者機能強化予算（案）〈支部保健事業予算-②〉

分野	区分	取組名	概要	経費 (円)
保健指導	中間評価時の血液検査費		特定保健指導委託機関が数値評価するために血液検査を実施した場合の費用負担	528,000
	保健指導用データ送料、パンフレット作成費、図書購入費等		保健師等への資料送付費用、保健指導用パンフレット作成費用等	902,560
	健診推進経費	『特定保健指導終了件数』を報奨金の対象とする実施機関	前年度実績を超過する実施機関にインセンティブを支払う	297,000
重症化予防事業	未治療者受診勧奨		要治療域の健診受診者に対する医療機関受診勧奨を電話（委託）及び文書にて実施	3,894,000
	重症化予防対策		<ul style="list-style-type: none"> ・治療中の被保険者に対し、佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを基本とする「健康支援プログラム」実施 ・事業主へ受診勧奨協力依頼文書、啓発文書送付 	1,577,550
コラボヘルス事業	コラボヘルス事業	健康企業宣言推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・量の拡大：広く広報活動を推進（パンフレット、宣言証、優良認定証、ポスター等の作成） ・質の向上：優良企業認定制度を活用した「健診」「特定保健指導」を導入する宣言事業所の増加 	1,394,800
その他	その他の保健事業	自治体等が実施する県民イベントへの参加	「がん征圧県民のつどい」「さが桜マラソン」へブース出展し、健康度測定及び保健師による健康相談等を実施	233,200
		特定健診未受診者層への受診勧奨	特定健診未受診者に対して簡易血液検査を実施	897,439
		新 非アルコール性脂肪性疾患の重症化予防	加入者にNAFLD/NASHを周知し、肝臓の繊維化の進行が疑われる加入者に発症予防と受診勧奨を実施	1,033,560
	保健事業計画アドバイザー経費		データヘルス計画に関するアドバイザーを選任	35,000

〈新規事業〉

〈概要〉

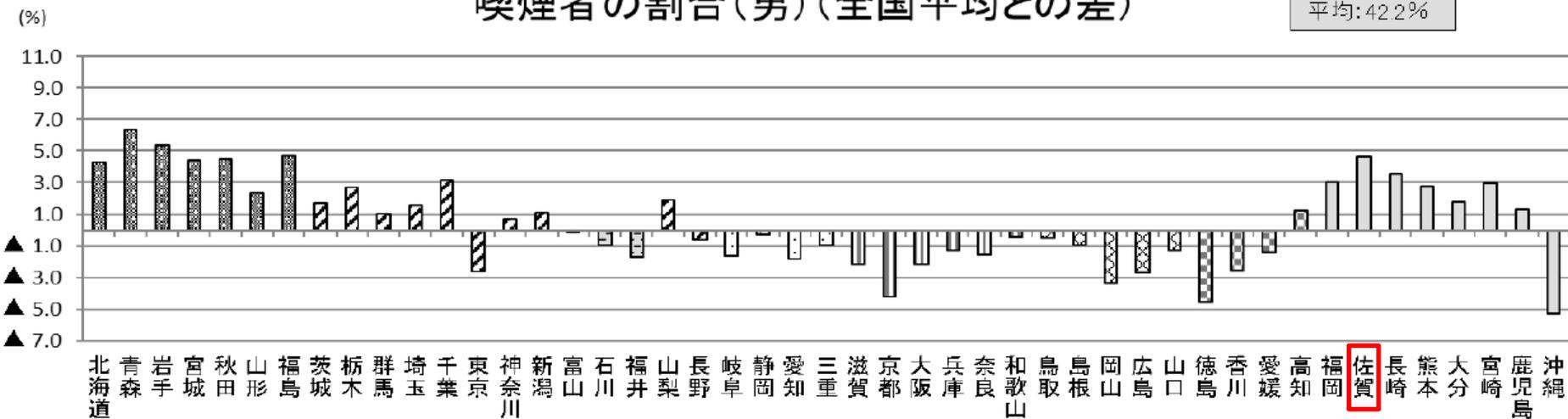
佐賀支部の男性喫煙者の割合が高いことを踏まえ、禁煙啓発チラシを提供し、喫煙率低下を図る。

実施にあたっては、禁煙に繋がりがやすいと考えられる、人生の節目である子の出生(出産育児一時金の支払い)にあわせて、受動喫煙防止に絡めた禁煙啓発チラシ等を送付する。



喫煙者の割合(男)(全国平均との差)

平均: 42.2%



〈新規事業〉

〈概要〉

ジェネリック医薬品の使用割合が低い医療機関に一定時間滞在した者に対し、位置情報を利用し、スマートフォン等にジェネリック医薬品使用促進にかかる広告を実施し、使用割合の底上げを図る。

①一定時間医療機関に滞在



②スマートフォン等に
バナー広告が表示される

佐賀の健康保険料率は全国一高い
保険料率の軽減にご協力
いただける方は**クリック**

③ランディングページに移行し、
ジェネリック医薬品使用勧奨

1. ジェネリック医薬品って何？
2. 国に認められた安全な薬です
3. 窓口負担が軽減されます
4. みんながジェネリック医薬品を使うと、報奨金も貰えて加入者の保険料率が軽減されます！
5. **すでに8割を超える人が使用しています！**



〈継続事業〉

〈概要〉

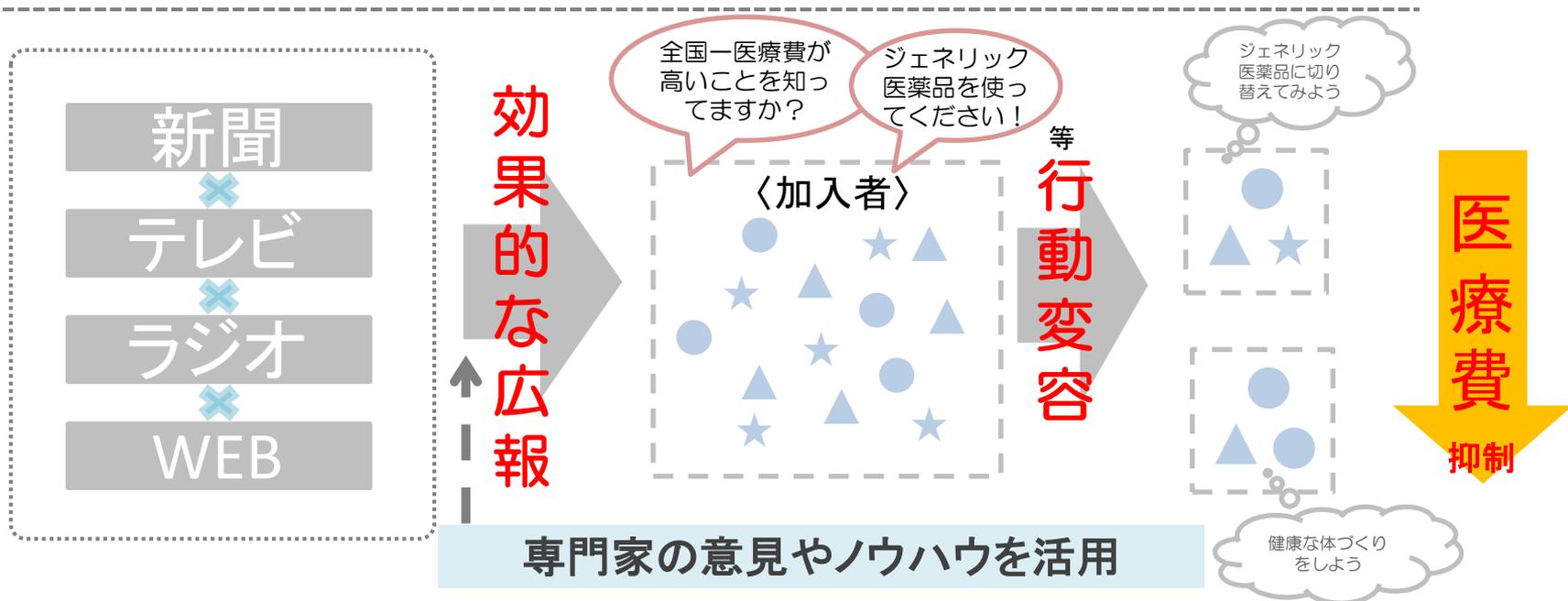
保険料率及び医療費が全国一高いということを加入者にまずは知ってもらい、医療費適正化への動機づけをしたうえで、具体例(動作指示)をあげながら受診行動の変容を図る。

〈2019年度実績〉

- ・サガテレビでの佐賀県出身タレントを起用したテレビCMを実施(総視聴率1,520GRP)
- ・YOUTUBE広告をオンエア(約4万回配信)

〈2019年度効果検証〉

- ・視聴した割合:36.6%
- ・全国一高い保険料率の認知度:22.0%から32.1%に向上
- ・公的医療保険のあり方として保険料や税負担、窓口負担増に頼る回答が減り、セルフメディケーションを推進するような、保険料を節約する方の回答が増えた。



□支部保健事業予算 「非アルコール性脂肪性疾患の重症化予防」

〈新規事業〉

お酒も飲まないし

〈概要〉 たかが脂肪肝と思って放置していたら、いつの間にか肝硬変！や肝細胞癌！なんてことにならないために

生活習慣病を背景に、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）が増加の一途をたどっており、健康診断を受ける成人の2～3割がNAFLD。その内の1～2割がNASH（非アルコール性脂肪肝炎）に進展し、NASHの5～20%が5～10年で肝硬変や肝がんに行進するといわれており、将来的な医療費増大が懸念される。

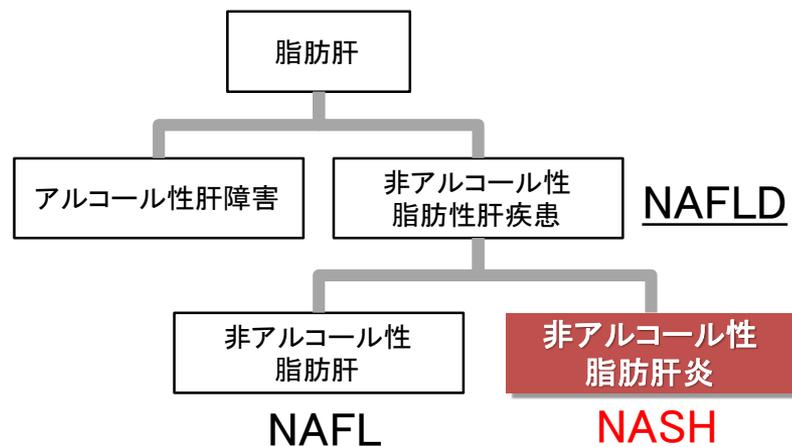
本事業は、**加入者にまずはNAFLD/NASHの存在を知ってもらい、重症化予防として、健診結果の経年比較から、肝臓の線維化の進行が疑われる加入者に対する発症予防と受診勧奨を行うものである。**

事業対象者	生活習慣病予防健診受診者のうち、検査値に「血小板数」があり、飲酒習慣がない内臓脂肪肥満の被保険者
事業スキーム	生活習慣病予防健診の結果データから、肝臓の線維化の重症度を予測するスコアリングFib4-indexを算出し、進行が疑われる者に重症化予防勧奨文書を送付する。

Fib4-index

（計算式） 年齢 × AST / 血小板数 × √ALT

血液生化学的検査データ（ALT、AST、血小板数）を用いたスコアリングシステムであり、肝線維化の程度を確認できるもの。



2021年度 支部保険者機能強化予算<スケジュール>

支部保険者機能強化予算の評議会との関係（標準的なプロセスの例）

